

学校の部活動に係る活動方針

福井県立ろう学校

1 ねらい

部活動は、生徒の主体性や社会性、豊かな人間性を育むうえで大切な教育活動であるとの考えにより、適正な活動計画のもと、合理的かつ効率的な運用により推進する。

2 生徒の実態

基本的生活習慣が確立できていない生徒や、積極性、協調性、自己調整力に課題がある生徒に対し、部活動を通して育成を目指す。また、身体機能の維持、向上、余暇活動の探求を行うことで生活を豊かにし、卒業後の生活をよりよいものにする活動が求められる。

3 保護者の願い

基本的生活習慣、積極性、協調性、自己調整力の向上と、部活動を通しての社会性や人間性の伸長を期待している。また、卒業後の余暇活動の選択肢を広げ、卒業後の生活をより良いものにしてほしいと希望する。

4 設置部活動

運動部【卓球】【レクリエーション】

5 活動計画・時間

部活動における休養日および活動時間については、生徒が運動や活動と休養や睡眠等との、バランスがとれた生活を送ることができるよう、以下を基準とする。

【卓球部】

○年間を通じて、週あたり平日に2日、土日2日共の休養日を確保することを原則とする。

大会日程等を考慮しながら、土曜日においては月あたり1回程度の部活動日を設ける。

また、週末の活動状況、考査日程等を考慮しながら、バランス良く平日の休養日の確保に努める。

○通常練習日の1日の活動時間は平日1時間程度、土曜日は2時間半程度とし、効率的で効果的な活動を行う。

【レクリエーション部】

○年間を通じて、週あたり平日に1～2回程度の活動日を設けることを原則とする。

また、行事や考査日程等を考慮しながら、安心・安全に学校生活が送れるように努める。

○通常活動日の1日の活動時間は平日1時間程度とし、ストレッチや体ほぐし運動、余暇活動を行うことで、心理的な安定、身体活動の向上を目指す活動を行う。

6 体罰等の防止

生徒の人格を傷つける言動や、体罰はいかなる場合も許されないことを、あらゆる機会を通じて徹底をはかる。

7 危機管理体制

部活動の共同管理を含め安全対策に最優先に取り組むとともに、緊急時の対応について共通認識を図り、事故発生時の対応を適切に行う。

8 熱中症対策

活動前と活動中（30分毎）WBGTを確認し、熱中症予防運動指針に沿って活動内容を精選する。また、活動と活動の間に休憩時間を取り、全生徒が水分を摂取しているかを目視で確認する。熱中症警戒アラートが発令された時は、冷房設備のある教室等で活動できる内容に変更する。

9 感染症対策

感染拡大への警戒を怠らず、感染の状況に応じて衛生管理マニュアルなどにに基づき感染症対策を行う。

10 指導力向上

競技に対して専門性のある教員などと協力し、競技や活動の特性を踏まえた合理的で効果的な指導が実践できるよう、部活動担当者での話し合いを密に行う。また、部活動担当者一人一人の指導力向上を目指し、指導に対しての振り返りを行う。

11 業務改善に向けた取り組み

毎月の活動計画や活動実績の確認等により活動内容を把握し、教職員の負担が過度とならないような持続可能な運営体制が整えられているかなどについて指導、是正を行う。